

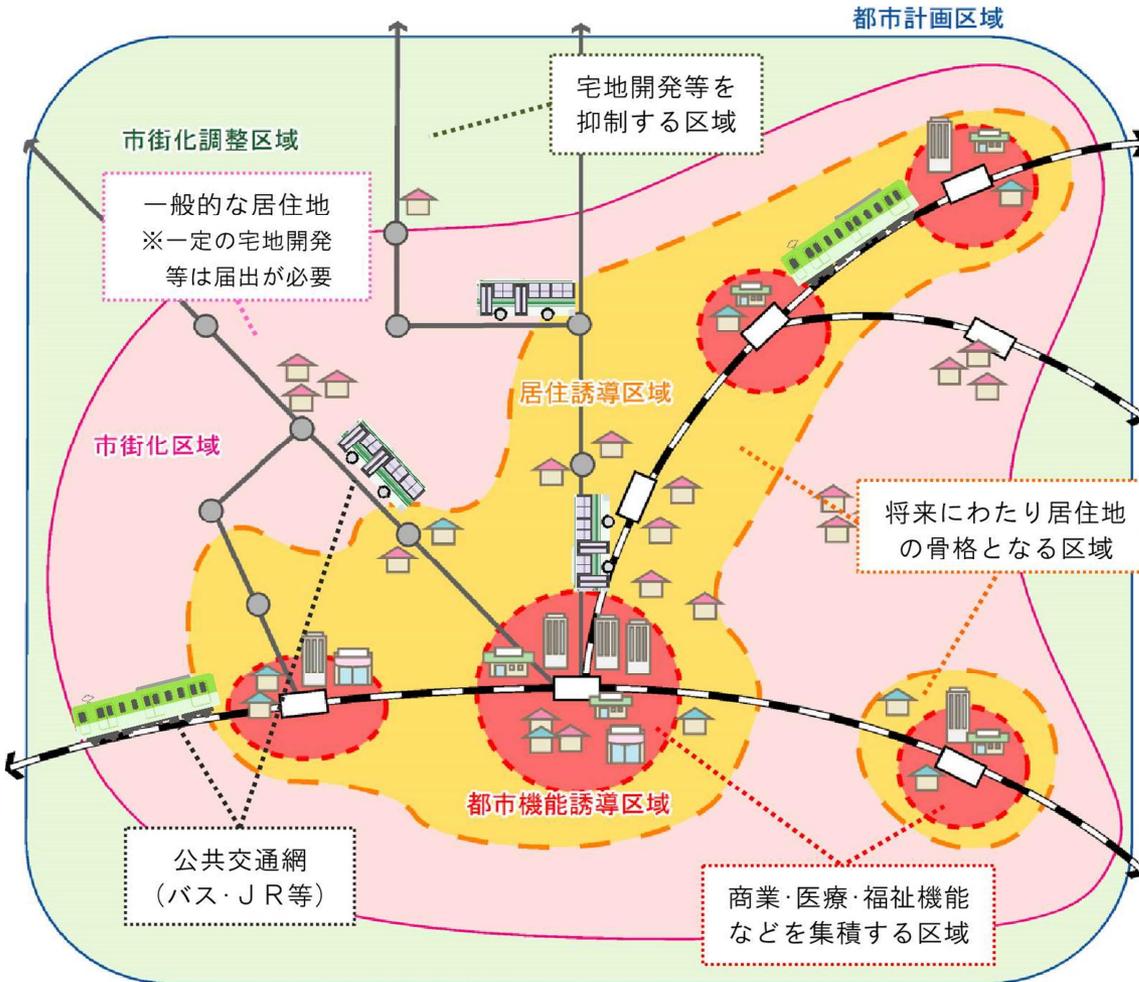
# 立地適正化計画の見直しについて

- (1)立地適正化計画の概要
- (2)気候変動と防災指針
- (3)今後の取り組み



# 持続可能で安心快適なまちづくり

将来を見据えた都市機能を維持しつつ、  
誰もが安心して快適な生活環境の形成を目指します



## 【立地適正化計画とは】

「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを具体的に進めるため、居住や都市機能を誘導する区域を設定し、区域内への誘導施策等を定めるもの。



**H30旭川市立地適正化計画**

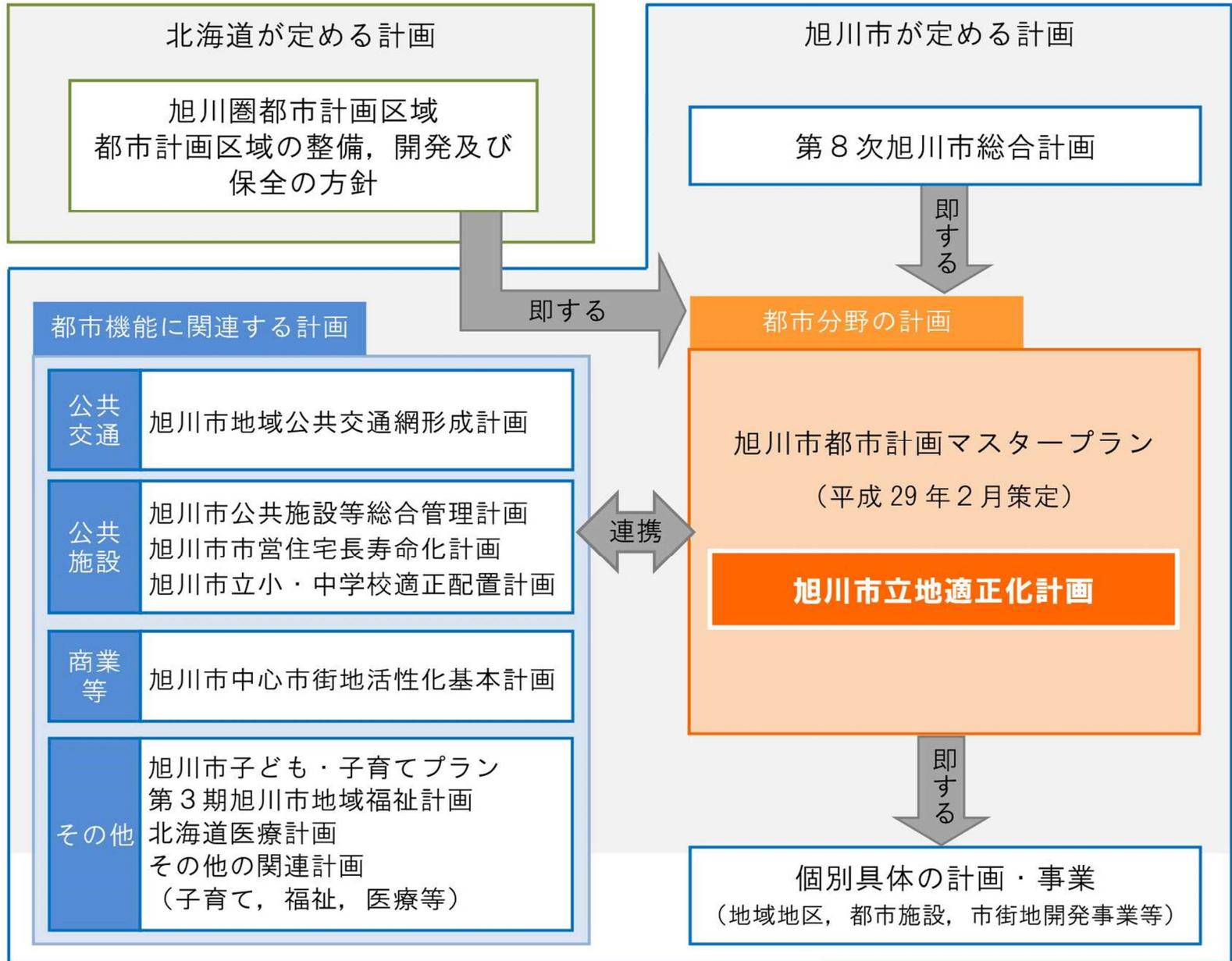


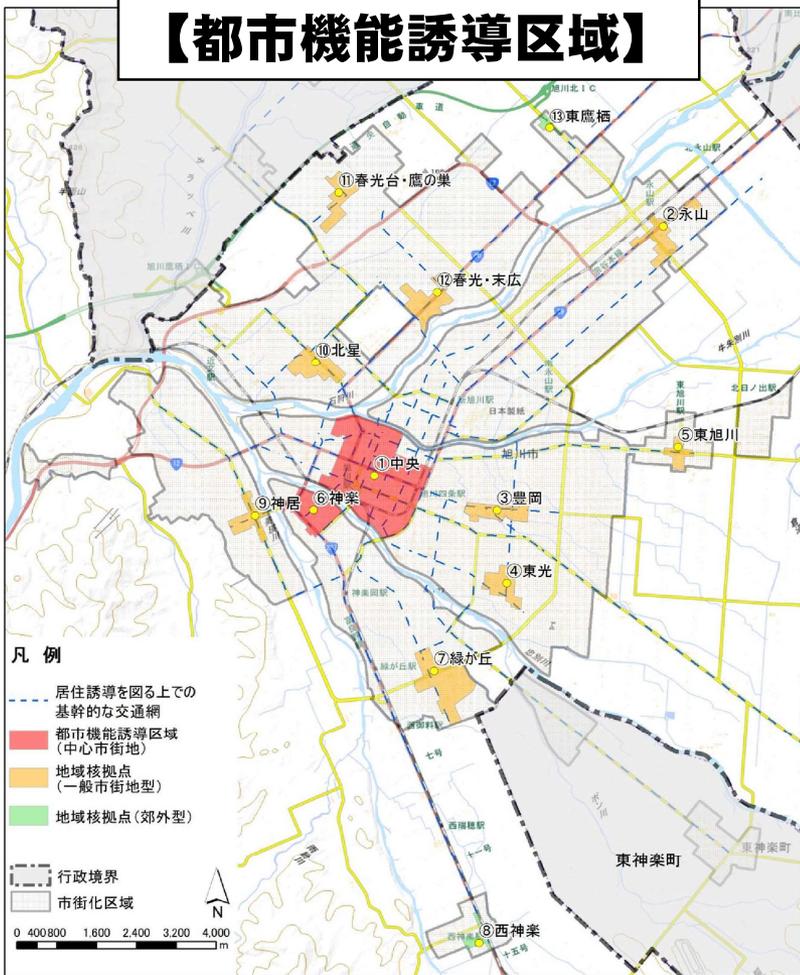
図 計画の位置付け

# 現況と将来動向分析

## 【人口・土地利用・都市機能・都市交通・災害・財政・広域連携】



# 誘導区域及び誘導施策の決定

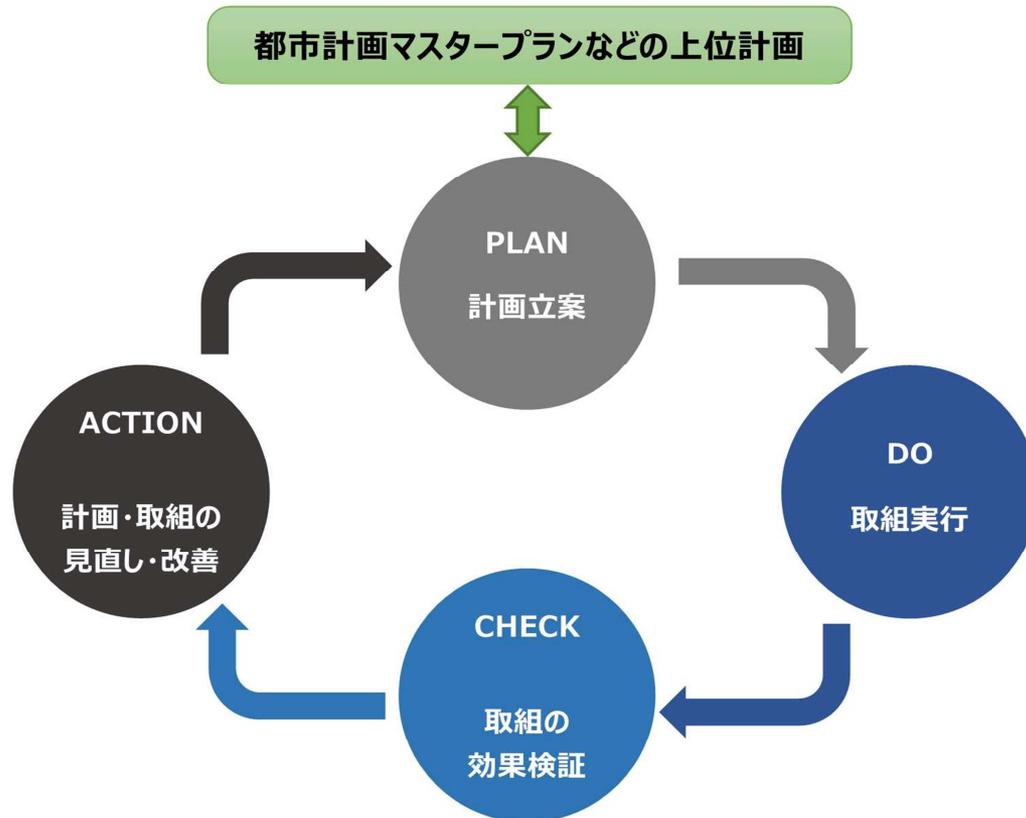


## 誘導施策

財政支援や届出制度の導入など

## 7-2. 計画の進捗管理

本計画においては、長期的な視点から本市の総人口が現在の約半数と推計されているおおむね50年後を見据えつつ、都市計画マスタープランと同じく平成48年度を目標期間としていますが、本計画で位置付けた各種施策が今後どの程度効果を発揮しているかを評価し、必要に応じて誘導区域や誘導施策等の見直しを行うために、おおむね5年を1サイクルとするPDCAサイクルを取り入れ、設定した指標とその目標値による効果検証を行いながら、社会状況の変化や関連計画の改定等を踏まえ、施策や事業等の見直しを行います。



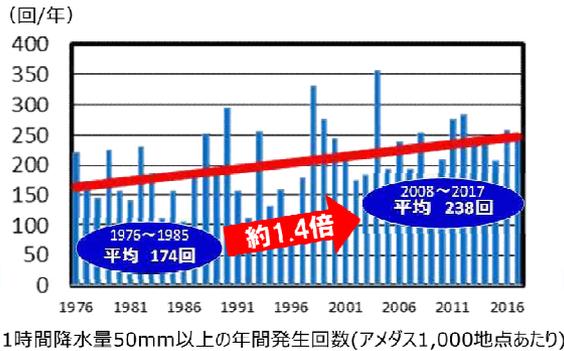
# 頻発・激甚化する自然災害

○ 気候変動の影響により、これまでの常識を超えて自然災害が頻発・激甚化。

## 気候変動の影響

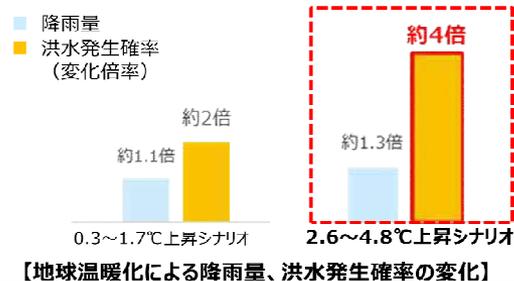
### 大雨の発生件数の増加

○ 時間雨量50mmを上回る**大雨の回数**がこの30年間で**約1.4倍**に増加



### 洪水の発生確率が増加

○ 地球温暖化により、気温上昇が最大のシナリオでは、今世紀末の**洪水発生確率**は1951年～2011年の平均と比較し、**約4倍と予測**

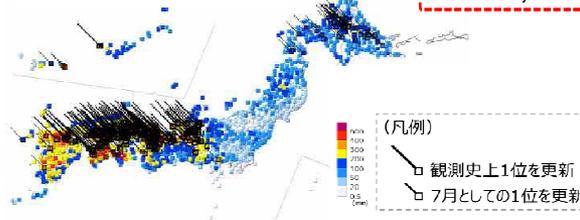


## 自然災害の頻発・激甚化

### 平成30年7月豪雨

○ 全国125地点で48時間降水量が観測史上最高を更新  
○ 西日本で広域・同時多発的に河川氾濫、がけ崩れが発生

<被害状況> (2018年11月1日時点)  
死者：224名 行方不明者：8名  
家屋：全半壊等21,121棟、浸水30,216棟



### 北海道胆振東部地震 (平成30年9月)

○ 北海道で観測史上初の震度7を記録  
○ 液状化等による**宅地の被害や、大規模な山腹崩壊に伴う河道閉塞が発生**

<被害状況>(11月1日時点)  
死者：41名  
家屋：全半壊等10,134棟



【宅地被害の状況】  
(北海道札幌市清田区)

### 台風第19号 (令和元年10月)

○ 令和元年台風第19号により広い範囲で記録的な大雨となり、**関東・東北地方を中心に計140箇所**で**堤防が決壊**するなど、**河川が氾濫し、国管理河川だけでも約25,000ha** (山手線内側の約4倍)の**浸水が発生**

<被害状況> (2019年11月13日時点)  
死者：83名 行方不明者：4名  
家屋：全半壊等27,571棟、浸水56,876棟



信濃川水系千曲川浸水状況  
(長野県長野市)



阿武隈川浸水状況  
(福島県須賀川市他)



土砂・洪水氾濫発生状況  
(宮城県丸森町)

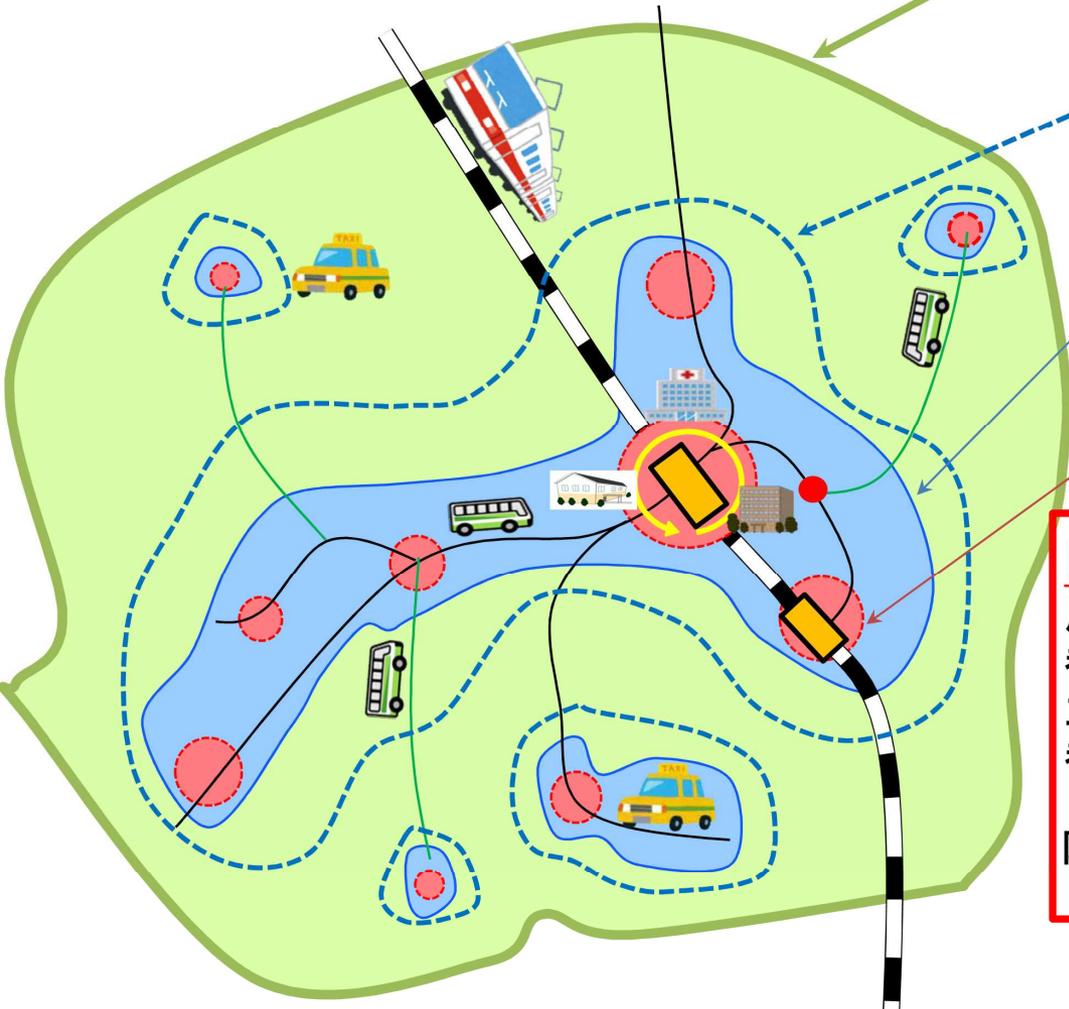


越辺川浸水状況  
(埼玉県川越市)

# 立地適正化計画と防災指針

## 立地適正化計画(都市再生特別措置法第81条)

居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の誘導を図ることにより、都市の機能を維持し、持続可能性のある都市を形成



**立地適正化計画区域(第2項)**  
**= 都市計画区域**

市街化区域等

居住誘導区域(第2項第2号)

都市機能誘導区域  
(第2項第3号)

R2法改正で新設

### **「防災指針」の作成(第2項第5号)**

居住誘導区域にあつては住宅の、  
都市機能誘導区域にあつては誘導施設の  
立地及び立地の誘導を図るための  
都市の防災に関する機能の確保に関する指針

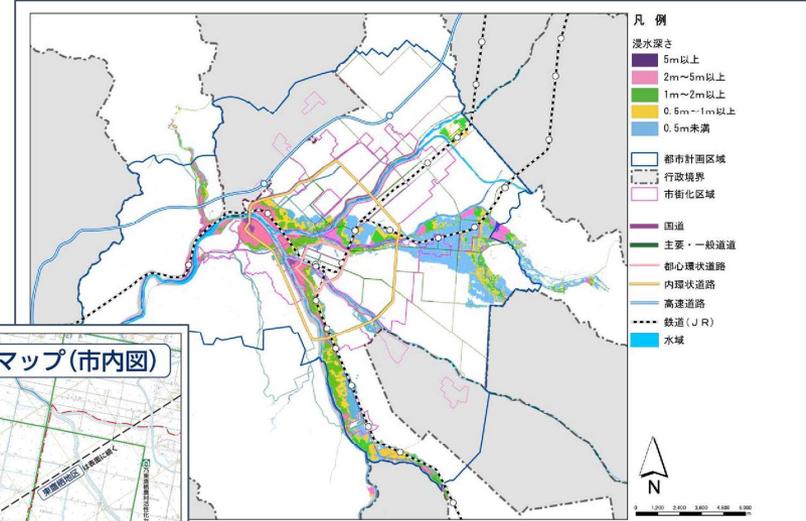
+

防災指針に基づく取組の推進に関して必要な事項  
(第2項第6号)

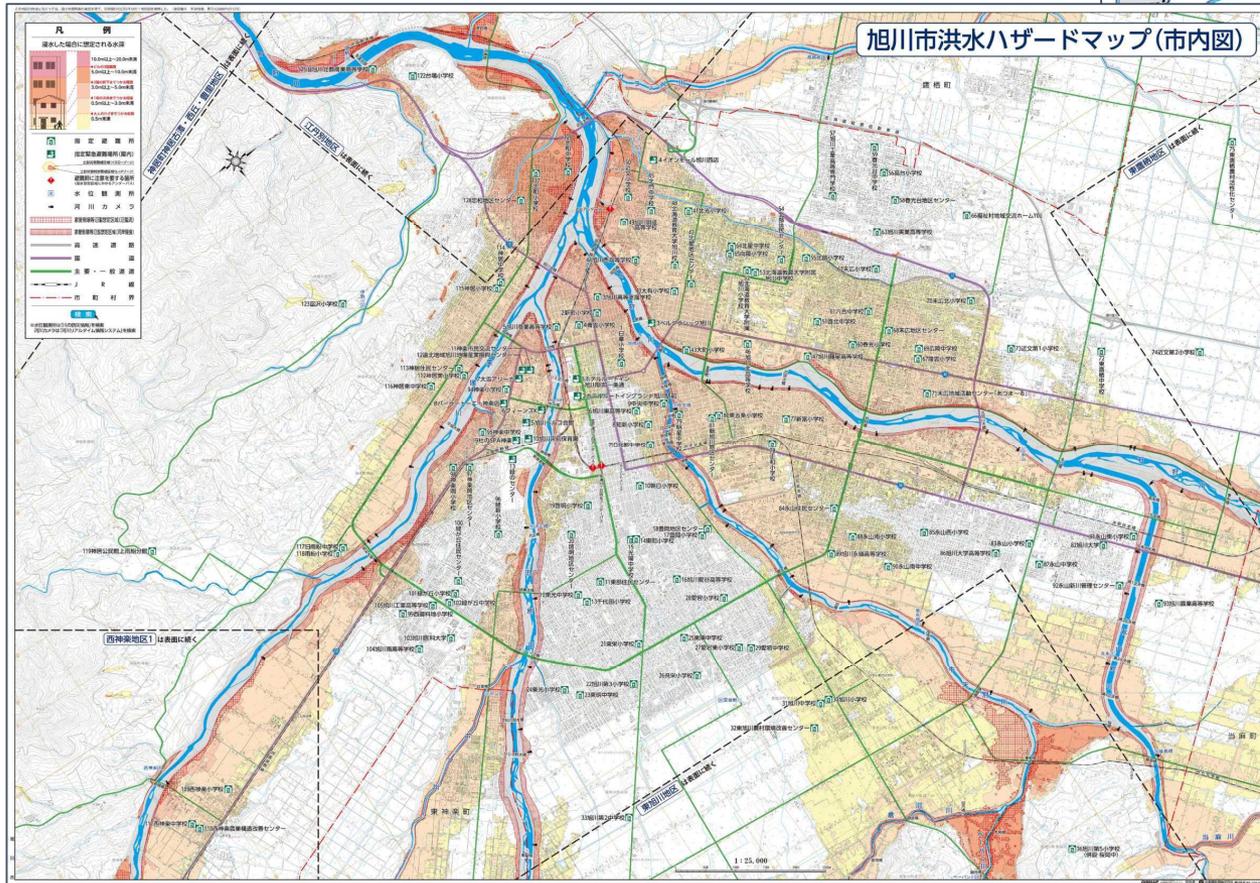
# 防災情報の更新（例）

# H30年策定時ハザードマップ

## 現在のハザードマップ



(資料：旭川市洪水ハザードマップ (H22.3))



# 今後の取り組み

## STEP1 現況と将来動向の検討

- 災害リスク情報のアップデート
- 治水対策等の状況確認
- 最新国勢調査等を活用した現況分析

## STEP2 都市計画見直しの必要性検討

- 現状の都市計画（用途地域・地区計画等）による規制に課題は無いか。
- 都市機能誘導区域や居住誘導区域の見直しは必要か。

## STEP3 立地適正化計画 策定会議等

## STEP4 立地適正化計画（見直し）策定

令和4年度～

令和5年度～

令和5年度末

## STEP3 立地適正化計画 策定会議等

### H30.3立地適正化計画策定時 会議(参考)

懇談会

...

大学生を対象とし、旭川市の将来像や地域毎の誘導施設について議論

意見交換会

...

市が示す基本的な方針について意見交換(まちづくり推進協議会単位)

庁内調整会議

...

誘導施策の検討, 関連計画との整合, 各段階の情報共有

策定検討会議

...

学識者(都市計画審議会委員の一部を含む)による専門的な議論

都市計画審議会

...

会議等を踏まえた段階毎の議論及び最終的な議論